

10月の休館日

5日(月) 12日(祝・月) 18日(日) 19日(月) 26日(月)

浪江 in 福島ライブラリー きぼう  
(仮設浪江図書館)

TEL・FAX 024(573)4295

E namielib@gmail.com

〒960-0241 福島市笹谷字片目清水30-8

◆貸出冊数 1人5冊まで ◆利用時間 9時~17時  
※お気軽にご利用ください。



読んでみませんか



「本を読む女」

林真理子/著  
集英社2015

読書を心の支えに、大正から昭和という時代を懸命に生きた一人の少女の物語です。著者自身の母親がモデルとなっていて、舞台は山梨、東京、相馬です。



「朝が来る」

辻村深月/著  
文藝春秋2015

親子3人で穏やかに暮らす栗原家に突然かかって来た電話…子を生めなかった者、子を手放さなければならなかった者、両者の葛藤と人生が描かれています。



「天空の蜂」

東野圭吾/著 講談社2006

東野圭吾が1995年に発表した小説です。敦賀にある原発の真上に突如、爆薬を載せた巨大ヘリコプターが現われる。ヘリコプターは何者かによって遠隔操作されていた…犯人の要求とは？原発の行方は!? 「沈黙する群衆に原子炉のことを忘れさせてはならない…」(本文より)

子宮がん(頸がん)検診を受けましょう

10月から県内(いわき市を除く)での子宮がん(頸がん)検診が始まります。

子宮頸がんは、20~30代の女性が発症するすべてのがんの中で第1位です。女性の命はもちろん、妊娠や出産の可能性まで奪ってしまう、生活や人生に大きな影響を及ぼす病気ですが、定期的な検診によってがんになる前に発見できる病気でもあります。2年に一度は、検診を欠かさずに受けましょう。

▷対象者 20歳以上の女性

※県内(いわき市を除く)に避難登録のある対象の方に案内を送付しています。

▷実施期間 10月1日(木)~12月31日(木)

※福島市内の医療機関のみ11月1日(日)~12月31日(木)

※12月末の検診日は、各医療機関の期限に合わせてください。

▷料金 無料

▷受診予約方法

医療機関名簿の中から希望医療機関を選び、直接電話をして予約してください。

※浪江町の子宮がん検診であることを必ず伝えてください。

▷持参するもの 子宮がん検診受診録、健康保険証

いわき市内の医療機関での子宮がん検診は8月から実施しています。

いわき市内に避難登録のある対象の方に案内を送付しています。

10月31日(土)で終了しますので、忘れずに受診しましょう。

総合健診を受診できない方は福島市内の医療機関で個別に受診することができます

9月から11月にかけて実施している総合健診を事情によりどうしても受診できない方は、福島市内の医療機関で個別に受診することができます。

個別健診をご希望の方は、個別健診用の受診票を郵送しますので、必ずご連絡ください。

●実施期間 11月から12月の2か月間

●実施医療機関 福島市内の委託医療機関

高齢者等インフルエンザ予防接種



インフルエンザは、毎年秋から春先にかけて流行する感染症です。

インフルエンザワクチンの接種は、免疫力が低下している高齢者にとって、ウイルスに感染しにくくしたり、感染した場合重症化を防いだりする効果が期待できます。接種を希望する方は医療機関で接種してください。

※予防接種を受ける法律上の義務はありません。

▷対象者

接種日に浪江町に住所を有する方で、

①65歳以上の方

②60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能に障がいまたはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障がいのある方(身体障害者手帳1級に相当する程度の障がい)

▷接種内容 皮下に1回接種

▷接種期間 10月15日(木)~12月31日(木)

▷接種方法

●県内に避難されている方

直接医療機関に予約し、窓口負担なしで接種できます。浪江町の予診票を使用してください。

●県外に避難されている方

避難先の市区町村にお問い合わせください。予診票は、避難先自治体のものを使用できます。

保健だより



問 健康保険課健康係 TEL 0243(62)0168

※市区町村によっては、無料で接種できない場合もあります。一度実費をお支払いいただきますが、浪江町で費用を負担しますので、ご連絡ください。

▷持っていくもの

●健康保険証 ●予防接種予診票



献血にご協力ください

血液は、まだ人工で造ることができません。病気やけがなどで輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、これまでご協力いただいた方は継続して、また、健康な若い方は新たに献血にご協力ください。

●日時●  
10月14日(水) 9時~16時30分

●場所●  
浪江町役場二本松事務所

ゆったり子育てアドバイス

食欲の秋にちなんで、子どもの好き嫌い克服法をご紹介します。

……………ポイント: 焦らず、楽しく、いろいろな味にチャレンジしましょう……………

子どもは大人よりも味覚が敏感と言われていて、食べられない味を嫌いと感じます。また、初めて食べた時に不快感を覚えると、その経験がもととなって苦手になってしまうことがあります。

そこで、子どもが苦手な食材の香りや苦み、食感を軽減するために、小さく切る・すりおろす・よく煮込む・とろみをつけるなど調理法を工夫してみましょう。そして、苦手なものを少しでも食べられた時は、ほめてあげましょう。味や食感を変えて食べられるとわかれば、子どもの自信につながります。家族がおいしそうに食べることで、『食べてみようかな』と興味を持つこともありますよ!

無理せず、少しずつ食経験を積み重ねていくことで、味覚を成長させながら、食べ物のおいしさを伝えていけるといいですね。

●日時 10月29日(木) 10時~ ●場所 いわき市文化センター

子育てに関する悩みは、教育委員会事務局子育て支援係へ TEL 0243(62)0170



今月のかもめっ子クラブ

- ◆いわき市 10月5日(月) 10時~ 中央台公民館
- ◆郡山市 10月20日(火) 10時~ 郡山市音楽文化交流館 ミューカルがくと館
- ◆南相馬市 10月22日(木) 10時~ 高平生涯学習センター